

沖縄県

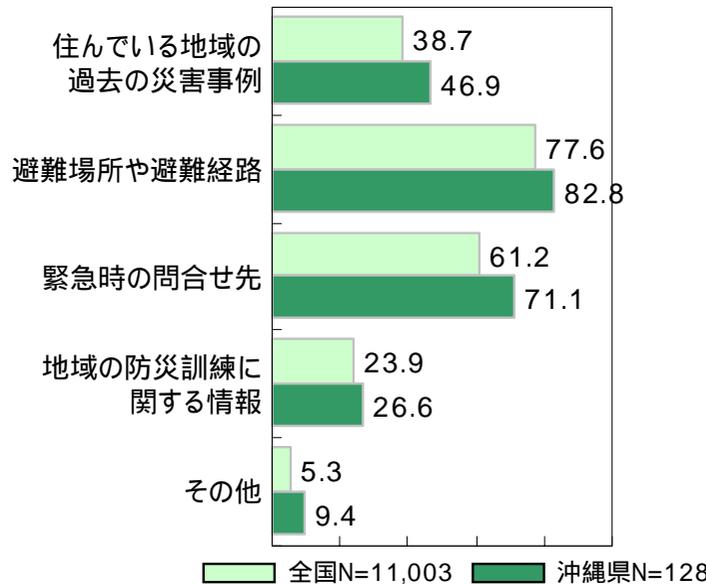
全国との比較

水害の予想は全国平均と大きな差はなく、ハザードマップの認識は「あることも知らない」が高い。
 災害に備えて知っておきたい情報は「避難場所や避難経路」、「緊急時の問合せ先」、「住んでいる地域の過去の災害事例」で高い。
 水害時の情報入手経路は「屋外スピーカー」、「携帯電話」、「新聞」を特に希望している。

Q1. あなたの地域で、水害が起こりうると予想していますか。



Q2. 日頃から災害に備えるために知っておきたい情報は何か。



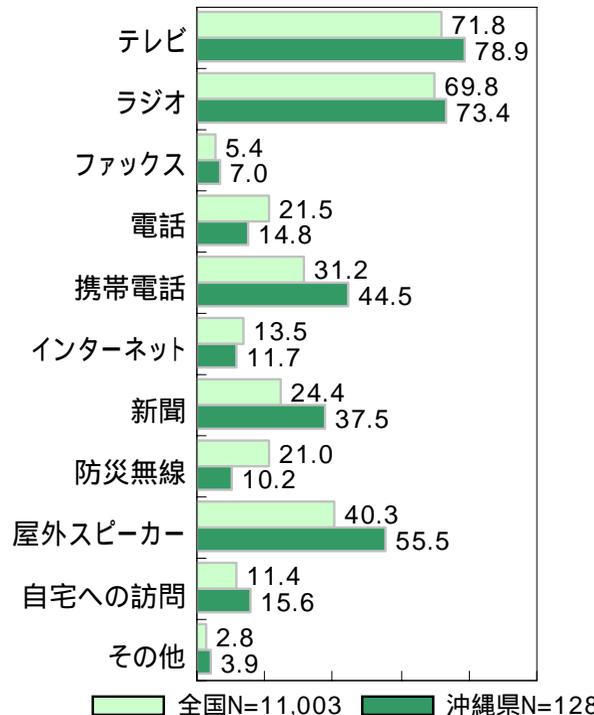
・「避難場所や避難経路」、「緊急時の問合せ先」、「住んでいる地域の過去の災害事例」が高い。

Q3. あなたは地域のハザードマップを見たことがありますか。



・「あることも知らない」が全国平均と比べて大きく上回る。

Q4. 水害が起こった時はどのような方法で情報を入手したいですか。



・「屋外スピーカー」、「携帯電話」、「新聞」が全国平均と比べて大きく上回る。

Q5. 防災・減災の観点から日頃あなたが思っていることや、防災・減災に関する地域の取り組みを進めていく上での課題など、どのようなことでも構いませんのでお聞かせください。

どんな場所が危険か知っておきたい。(女性 20代)

ハザードマップとは何ですか？(女性 20代)

ハザードマップを住民に配布し注意を喚起してほしい。又、危険と思われる所には住宅が建てられないような規制も必要と思います。(男性 年代不明)

沖縄でこんなに大きな災害になるとは思ってもみなかったのですごくびっくりしました。日頃から緊急時の勉強会等があればと思いました。(女性 50代)

沖縄では、今年大雨による土砂くずれ、水害などの被害がでました。今までは、人ごとのように考えてきましたが、実際、身近におこることから、日頃から避難場所の確認や防災グッズが必要だとつくづく思いました。(女性 30代)

今年沖縄でも中林村でもたいへんな地すべり災害がありました。さっそくインターネットで自分の地域のハザードマップを調べました。(女性 40代)

住んでいる所が離島です。津波、高潮の調査等はどうなっているのかいろいろな角度から今までのデータを元に話しを聞いてみたい。(男性 50代)

地域の方と年に1、2回は防災についての話し合いをしたり、地域の防災訓練に関する情報をする必要があると思う。(女性 60代)